

# 首都圏空港の更なる機能強化に関する技術的な選択肢

## 首都圏空港機能強化技術検討小委員会の中間取りまとめ(概要)

	■2020年東京オリンピック・パラリンピックまでに実現し得る主な方策	■2020年東京オリンピック・パラリンピック以降の方策
羽田空港	<ul style="list-style-type: none"> <li>滑走路処理能力の再検証 ⇒ 年間+約1.3万回(約35回/日)</li> <li>滑走路運用・飛行経路の見直し ⇒ 年間+約2.3~2.6万回(約63~72回/日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>滑走路の増設</li> </ul>
成田空港	<ul style="list-style-type: none"> <li>管制機能の高度化 ⇒ 年間+約2万回(約55回/日)</li> <li>高速離脱誘導路の整備 ⇒ 年間+約2万回(約55回/日)</li> <li>夜間飛行制限の緩和 ⇒ 年間+<math>\alpha</math>回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存滑走路の延長</li> <li>滑走路の増設</li> </ul>
	<b>合計 約82.6万回 (年間+約7.9万回)</b>	注:その他の課題として、両空港をフルに有効活用するための方策、異常発生時における回復性の強化、空港処理能力拡大以外の機能強化方策、羽田空港、成田空港以外のその他の空港の活用等が挙げられている。